



第六課

私の美学

単語

欲張る

選り分ける

盛る → 大盛り、小盛り、

白沫む

役目

中身 (中味)

掬う

のぞむ (望む・臨む)

いっぱい (名) (1) : ①一つの容器に満ちる分量。「一の酒」②少し酒を飲むこと。「一やろう」

(副) (0) : ①容器・建物・場所などに入る限界にまで達しているさま。「会場は人で一」

単語

② 非常にたくさんであるさま。「元気一働く」「客が一きた」

③ 限度であるさま。ありったけ。「制限時間が一になる」「これで精一だ」

繋がる：①離れているものが一続きのものになる。「四国と本州が橋で一・る」②間が離れずに続く。「自動車が一・ってくる」③関係がある。「敗北に一・る失策」④血縁関係がある。

「血の一・った人」⑤つなぎとめられる。「情に一・る」

→ 繋ぐ：①離れているもの、切れているものを一続きのものに結びつける。「手を一・いで歩く」②ひも状のもので結びとめて離れないようにする（=繋げる）。「犬は一・いでおくこと」③拘禁する。自由をうばう。「獄に一・ぐ」④切れないように保たせる。持ちこたえるようにする。「なんとか話を一・いでおく」

単語

戸惑う：予想外の事に、どう対処していいかわからずにはまごつく。

抑える：重要な点を確実に認識・理解する。「要点を一・える」

文型

1.～っぱなし (N1～級外)

意味：～したままで、後の当然しなければならないことをしない。

接続：動詞のマス形

例：ドアを開けっぱなしにしたまま出てしまった。

本屋ノートなどを置きっぱなしにして片付けようともしない。

隣の家の新聞がたまりっぱなしだけれど、旅行でもしてるのでだろうか。

精読

- 1.人々が机の上のペン皿にある削りたての鉛筆やお皿に盛った黄色をしているバナナなどを美しく思うのはなぜか。
- 2.人々はどうして花のような命のあるものが美しいと思うのか。
- 3.どろんこでも、汗みどろでも、働く人の姿が美しく目に映る原因は何か。
- 4.私たちはどのような動作を美しく思うのか。
- 5.詩の心とは何か。
- 6.日常生活において、人々はどのように美を作り出しているのか。
- 7.本文の内容をまとめてみてください。